

# の で 禍 ナ コ 診 検 がん が 乳

／ どのなの？！



乳がんは日本の女性が罹患する原因の第1位を占めており、乳がん検診は乳がんで亡くなる方を減らすための重要な健康事業です。

適切な感染防止対策を施し、新しい生活様式に見合ったがん検診提供体制を整備することが求められています。

またこんな時期だからこそがん検診を受けることの利益・不利益の考え方と共にブラストアウエアネスの実践を図ることは新しい時代の乳がん検診を進めるうえで重要です。

こんなときでも  
乳がん検診

お互いがマスクをしていればマンモグラフィーはそれほど感染のリスクが高い検査ではありません。

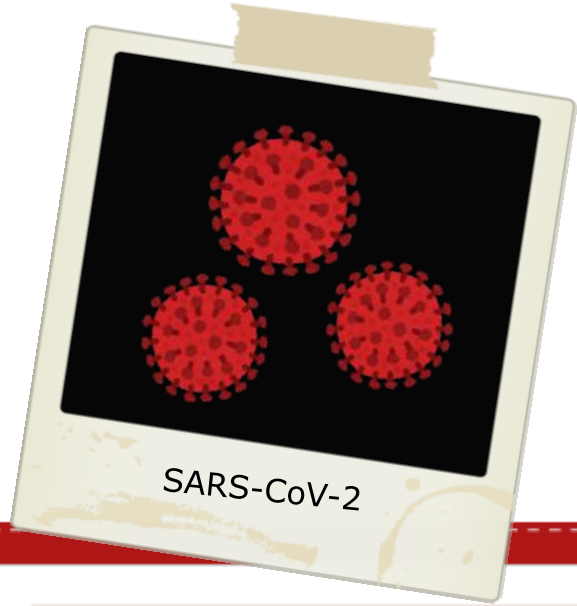
マンモグラフィーの検査を行う場合に、感染の可能性があるのは顔面（口腔、鼻腔、眼球）にある粘膜です。国の濃厚接触者の基準や米国の医療従事者向けのガイドランスを見るとCOVID-19患者と長時間（15分以上）の濃厚接触（1メートル以内）があった場合でも、お互いがマスクをしていれば感染のリスクは低いと評価されています。

当院では、マンモグラフィーを担当する技師はマスクとゴーグルで対応し、手指衛生を徹底して装置や手すりなどをアルコールで消毒しています。また検査終了後は安心して検査を受けて下さい。

マンモグラフィーの  
感染対策

## 実践しようブレスト・アウエアネス

- ① 自身の乳房の状態を知るために、日頃から自身の乳房を見て、触って、感じる（乳房の健康チェック）
- ② 気を付けなければいけない乳房の変化を知る（しこりや血性の乳頭分泌など）
- ③ 乳房の変化を自覚したらすぐ医師に相談する（医療機関に行く）
- ④ 40歳になったら乳がん検診を受診する（住民検診の受診）



# 乳がん検診 しんぶん

令和3年  
6月発行  
赤穂市民病院

## 新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)とは？

COVID-19の原因ウイルスはSARS-CoV-2というコロナウイルスのひとつです。

ウイルスは粘膜に入り込むことはできますが、健康な皮膚には入り込むことができず表面に付着するだけとされています。物の表面についたウイルスは時間がたてば壊れてしまいますが、物の種類によっては24時間～72時間くらい感染する力を持つとされています。

新型コロナウイルスは一般的には飛沫感染、接触感染で感染します。

### 飛沫感染

感染者の飛沫（くしゃみ、咳、つばなど）と一緒にウイルスが放出され、他の方がそのウイルスを口や鼻などから吸い込んで感染すること。

### 接触感染

感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、その手で周りの物に触れるとウイルスがつきます。他の方がそれを触るとウイルスが手につき、その手で口や鼻を触ることにより粘膜から感染すること。

手洗いは、たとえ流水だけであったとしても、ウイルスを流すことができ、石鹸を使った手洗いはコロナウイルスの膜を壊すことができるのでさらに有効です。  
手指消毒用アルコールもウイルスの膜を壊すことができ有効です。